



2022年8月29日

各 位

会 社 名 株式会社レスターホールディングス  
(コード：3156 東証プライム市場)  
代表者名 代表取締役 朝香 友治  
問い合わせ先 常務執行役員 二島 進  
(電話：03-3458-4619)

### 再発防止策の策定に関するお知らせ

当社は、2022年7月28日付「特別調査委員会の調査報告書受領に関するお知らせ」に記載のとおり特別調査委員会から当社の海外子会社において、従業員の親族が営む現地企業との取引にコンプライアンス違反があった（以下「本事案」といいます。）とする調査報告書を受領し、調査報告書において指摘された再発防止策の提言を真摯に受け止め、具体的な再発防止策について検討してまいりました。

当社は、本日開催の取締役会において、再発防止策等について決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 再発防止策

##### (1) 海外子会社における適切な社内管理体制の確立

- ① 就業規則等の関連規程において、従業員による利益相反取引の原則禁止をより明確にするとともに、取引先審査において、取引担当従業員との関係性（当該従業員の近親者であるか否かを含みます。）を事前に確認するルールを全社的に導入し、従業員による利益相反取引の再発防止に努めてまいります。
- ② コンプライアンスマニュアルを本事案の内容を踏まえ充実させることで、役職員含めた全従業員に利益相反行為がコンプライアンス違反であることの周知徹底を図ってまいります。また、経営陣からコンプライアンスについて定期的にメッセージを発し、全社におけるコンプライアンスに対する意識向上に努めてまいります。
- ③ モニタリング部門の機能強化を図ります。具体的には内部監査室の人員体制強化を図りすべての監査対象先に対する監査ローテーション期間を短縮します。また、監査対象先の選定においては監査等委員会、内部監査室、内部統制室で重要度を協議の上、事業規模の大小だけでなくリスクベースの視点も重視します。各種会議体からの情報収集等により、リスクの度合いに顕著な影響を及ぼす様な変化が認められた会社については期中であっても都度重要度を見直し、必要に応じて監査計画の変更を行います。

(2) グループにおける海外子会社の位置づけ・管理体制の整理

各子会社の組織の位置づけと業務の内容を改めて見直し、より適正なレポートラインの再整備をいたします。具体的には本事案に関係した子会社の組織的な位置づけと業務内容を勘案し、より適切なレポートラインを確保できるよう規程の整備を行い、グループガバナンスを強化いたします。

(3) コンプライアンス違反が発覚した場合の報告体制

コンプライアンス疑義案件における社内情報共有の在り方と教育による意識改革に努めます。コンプライアンス違反の疑義段階における対応として、規程に基づくコンプライアンス委員会の運営を改めて徹底してまいります。また、コンプライアンス疑義の内容に応じた社内情報共有の在り方を定め、決算に関わる事案の可能性がある場合には、経理部門への情報共有を速やかに行うなど関係者への教育含め周知徹底いたします。

(4) グループ役職員・経理担当の役職員らの意識改革と教育

「監査における不正リスク対応基準」に関して経理部門の役職員、及び従業員全体に対する再教育を進めてまいります。再教育を通じて不正リスク対応に関連する決算業務の意識改革を組織として改善してまいります。

2. 役員報酬の自主返上等

本日開催の当社取締役会において、自主的な報酬の返上の申し出がありました。本事案は2022年3月期の決算に関連する事案であったことから以下に記載の役職は2022年3月31日時点の職位となります。

代表取締役（1名）	月額役員報酬の10% 2ヶ月分
取締役（常勤監査等委員）（2名）	月額役員報酬の10% 1ヶ月分

当社の株主、投資家、市場関係者の皆様ならびにお取引先その他すべてのステークホルダーの皆様に多大なご心配とご迷惑をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。今後は速やかに再発防止策を実行することにより、皆様からの信頼回復に努めてまいります。

以上